

兵隊関係者旅券下付証
蘭陸軍者照會件

MT

5121 2

5-0046

0106

陸軍省
送甲第三七二號

次官

C 廿三
一

廿六年二月十日發受 善管政務局

陸軍省

陸軍省送甲第三七二號

支第一四〇四號

學術修業ノ為ノ外國ニ寄留シ
 徴兵令第二十一條第二項ニ依
 リ徴集猶豫ニ属スル者ハ明治廿
 二年勅令第六十三号徴兵事務
 條例第六十二條揭示ノ通公使又
 ハ領事ノ證明書ヲ以テ領出ヘキ筈
 之處公使及領事ヲ置カサル國ニ函
 学ノ者ニ在テハ同條ニ准テ捷シ難ク
 徴兵官ノ處分上差支候ニ付右ハ
 去ル十一月貴省第一号布達海
 外旅券規則ニ依リ旅券ヲ受取
 タル官廳証明書ヲ以テ出領セシ
 度候就テハ貴省ヨリ直ニ旅券領
 受ケタル者ニシテ右證明書受度
 旨領出ツル者アルトキハ却
 候様致度及協議候也

明治廿六年二月九日

陸軍大臣伯耆大山 巖

外務大臣陸奥宗光 殿

MT. 5121 2

MT. 5121 2

廿七年二月五日接受

主管通商局



三才三二一五号

變第二九二號

波島令第廿二条ノ下ニ依リ波島集積後
出航スルハ公使又ハ領事ノ澄明書ヲ
令事務條例第廿二条ニ依リ交付セ
ル處中ニ帝國公使館又ハ領事館在リ
法律上ノ向キ有キモ得キ、右ノ公使又ハ領
事名、証明書ニ其ノ在リハシテ交付セ
ル事、公使又ハ領事ハ通商告書ニ依
ル段及シテ照会セリ也

明治廿七年二月五日

静岡縣 静岡市 小松島支庁 大井町



静岡縣

外務省通商局長 齋藤 殿

MT

5121 2

MT

5121 2

5-0046

0109

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

二十七年二月八日達濟

明治廿七年 二月 七日起草
同 年 月 日發遣

以時

主任

白書

二二二

新訂朝鮮の行政事情

海軍令並系中二箇の持り

陸軍事務例中三十二條の依り

外務省

証明書、中三の便録又の領事館名

及び領事館の供又の領事館名

及び支那の起程と考へ供書

三十三二号の以り及以り

領事一紙、白書並に

白書

〇廿三

MT.

5121 2

MT.

5121 2

5-0046

0110

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

8

徴考
17

明治廿七年八月

豫備徴員ニシテ海外旅券下付
願者ニシテ義關陸軍省照會
件

外務省

MT.

5121 2

5-0046



アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

明治廿七年七月二十日起草
同 年 月 日 發遣

主任

通商

外務省通商局長事務

陸軍省軍務局長見出添付

豫備徵負之納入相成り先之ニシテ海外旅券下付

願出之ノハ旅券規則ニ準シ何等抵觸ノ所

外務省

七名之ニ付且之ニ旅券下付及来ノ余徴兵令

ノ三ノ条ノ明文ニ有之ヲ存 此際何等ノ

規定相成リ之ニ有之ヲ多量ニ通知スルハ

該及少部

徴兵令ノ三ノ条ニ於テ

抽籤者ノノ收領ニ從ヒ初年所定ノ現役兵
員ニ起スル正丁一ノ年同 三月 徴備兵員
ル氏又ハ其年徴集ノ兵員ニ對シテ其ノ
ノ氏又ハ其年徴集ノ兵員ニ對シテ其ノ

12
K.1

送

陸軍省 送甲第九九三號

九三三

豫備徵員ニシテ海外旅券下付出願者ノ件ニ關

シテ送甲第九九三號ノ旨ニ從ヒ其ノ在リ海外旅

券下付ノ旨ニ從ヒ其ノ在リ海外旅券下付ノ旨ニ從

ヒ其ノ在リ海外旅券下付ノ旨ニ從ヒ其ノ在リ海外

MT. 5121 2

MT. 5121 2

12
K.1

陸軍省軍務局長見出添付印紙

豫備徴員ニ編入相成リタルニシテ海外証券下付

願書ニシテハ証券規則ニ準シテ何等抵觸スル所

外務省

モ多クニ付且之ニ証券下付及来々交徴兵令

ノ三三條ノ明文ニ有之ル所存此際何等ノ

規定相成ルモ之有之ル所存且之通知亦如之

陸軍省軍務局長

徴兵令第二十三條抄

抽籤者等ノ取柄ニ於テ毎年所定ノ現徴兵
員ニ起シタル者ハ一年間ニ於テ豫備員
ニシテ其年徴集ノ旨負給ルルトキ

陸軍省送甲第九九三號

豫備徴員ニシテ海外証券下付出願者ノ件ニ関

スル事第四三三號ノ旨ニ照シテ起シタル者ハ海外証券

下付ハ古ク掃朝モタリ得ルル旨ノ旨別般ノ規定ハ

該令ニシテ存シ及之由卷ハ

明治三十七年七月三十一日

陸軍省軍務局長

外務省通商局長敬啟

陸軍省

陸軍省

MT. 5121 2

MT. 5121 2

MT. 5121 2

明治八年二月一日

記帳簿

明治八年二月一日

16

明治八年一月廿五日起草
同 年 二月 一日 發遣

主任 松井

文書

通商局



陸軍省

外務省

陸軍省 陸軍大臣 陸軍省 外務省 林董

去 年 月 廿 四 日 貴 省 令 第 一 号 シ 多 明 治 亦 大

年 貴 省 令 第 一 号 シ 改 正 相 成 内 海 外

外務省

於 此 受 承 リ タル 官 廳 ノ 敬 認 書 ノ コト

相 見 之 交 元 來 認 許 ハ 為 省 多 發 給 スル 元

々 シ 多 加 甚 認 許 シ 委 任 シ タル 官 廳 ノ 外 他

ノ 官 廳 ノ 認 許 シ 多 為 者 へ 認 許 下 付 多 認

許 場 合 ニ ハ 為 者 ハ 認 許 ニ シ 多 認 許 下 付

セ タ シ シ 其 認 許 シ 多 官 廳 シ 認 許 スル コト

七 次 序 台 即 多 認 許 認 許 上 其 認 許 多 認 許

下 付 多 官 廳 シ 意 味 スル コト 解 釋 認

23
C1

MT.

5121 2

MT.

5121 2

5-0046

0114

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

外務省
文書

外務省

MT

5121 2

5-0046

0115

廿八年二月八日通牒

記録部長



明治廿八年二月九日 日起草
同日發遣 松井

主任

次官

通牒



卷第 二九 號

陸軍大臣秘書 西口辰雄

外務大臣秘書 松井

松井 外務大臣秘書 松井

二月廿四日陸軍省令第一号ヲ以テ明治廿六年

八年二月九日記録部受交

外務省

陸軍省令第一号ヲ以テ改正相成、後右省令

中ニ有テ、旅券ヲ受テタル官廳ノ兼認

書ニ及テ、明治廿六年二月送テ一号

ニシテ、当省ヨリ直ニ旅券下付及ヒタルハニ

シテ、証明書受タル者アルトキハ、當省

ヨリシテ下付スルコトニ及ビ、固若、廣其後

旅券下付ノ手續シテ、地方官廳ノ証明ヲ得テ

旅券下付シタル者アルトキハ、當省ハ直ニ

MT.

5121 2

MT.

5121 2

之ヲ本人ニ下付セスシテ其証候ヲ老シ官廳ニ
 送付シテ之ヲ下付セシムトニ致シテ存案証書
 ノ多クは際從來ノ手續ヲ改メ証書シ直接
 本人ニ下付シテ地方官廳ニ於テ之ヲ發給ス
 ルコトニ爲ク方官廳便算ト有テ遠隔ノ地ヨ
 希禮書ヲ當者一紙出ツル者ハ文書は後ニ
 多分ノ日子シ要シ勤モテハ秘定期限ヲ越ス
 ルノ懸念モ有ク存前案舊案相致メテ多
 外務省
 可然ト有ク阿西異存モ之ノ其旨隨テ地方
 官ニ示シテ存案百何方々多面示
 有クは改出シ照会スル也

MT. 5121 2

MT. 5121 2



参考

明治廿八年一月廿四日官報第三千四百九十九号換筆

陸軍省令第一号

明治廿八年陸軍省令第一号ヲ左ニ通改正ス

明治廿八年一月廿四日

陸軍大臣 伯爵 西郷從道

一 徴兵令第廿一條第二項ニ依リ徴集猶豫ヲ出願セ

シトスル者ニシテ其願書ニ公使又ハ領事ノ証明書添へ

三月一日迄ニ差出し難キ事情アルモノハ海外旅券ヲ

受取リタル官廳ノ承認書ヲ以テ公使又ハ領事ノ

証明書を換へ同日迄ニ差出し置キ進テ該証明書を

差出ストシ得

二 公使及領事ヲ置カサル國ニ在ル者ハ其徴集猶豫願

外務省

書ニ海外旅券ヲ受取リタル官廳ノ証明書を添へ

差出スヘシ

MT. 5121 2

MT. 5121 2

廿八年二月十二日 陸軍省 送甲第二二二號

陸軍省 送甲第二二二號

第一一三五

次官

本日の内閣議決は、
陸軍省、海軍省、文部省、逓信省、
農商務省、内務省、司法省、
各省の地方官、
一、河津本町、
明治廿八年二月十六日

陸軍大臣 陸奥宗光殿

廿八年二月廿一日 陸軍省 送甲第二二二號

陸軍省

MT.

5121 2

5-0046

0120

明治廿八年二月

旅券証明方改正并各府縣通知之件

外務省

MT

5121 2

5-0046

0121

二十一年二月十三日

明治廿八年二月十三日 起草
同 年 月 日 發遣

主任

次官

通商局



各府縣知事宛

但用港幅ノ際

外務省通商局長原敬

改定港幅改正ノ件

外務省

送第路三二

送第路四

送第路八

23
01

八年二月十三日

本年二月廿四日陸軍省令第一号ニシテ明治
 廿六年陸軍省令第一号ヲ改正相成候處
 右省令中ニ有ク、該部ヲ受取リタル官
 廳ノ兼認者ニ其ニ付テハ明治廿六年二月
 中陸軍省ノ相成ニ上當者アリ、直ニ該部
 下付及ヒタル分ニシテ、証明書受取後、
 取付キハ、當者アリ之ヲ下付スルノ下ニ相成居候處
 同年四月廿日該部下付ノ手續ヲ改メ、地方廳

5121 2

MT

5121 2

ノ証明ヲ得テ欲券下付願出ツル者タルトキハ
当省ハ直々ニ之ヲ本人ニ下付セスレテ其証明
ヲ得ル官廳ニ送付シテ之ヲ下付スルコトニ致
ス候ニ付兼證書ニ添ヒ此際從來ノ手續
ヲ改メ欲券ヲ直接本人ニ下付シタル地方廳
ニ付テ之ヲ發給スルコトニ令改陸軍省ト極後ヲ

送付信同 如市心濟此改申付也

依命

及ア爾時也

外務省

MT.

5121 2

5-0046

0123

宣統二年二月十八日發 香通商局

發三第一一七号

第一一七号

本月十二日付送第三二号ヲ以テ本年一月廿四日陸軍省令第一号中ノ有之候旅券ヲ受取タル官廳ノ兼認書取扱方之義、付御通牒之趣了義然ル、該旅券下付方ノ義ハ御来意ノ通證明ヲ為セシ官廳ヨリ本人ノ交付ニ来ルモ右旅券返納ノ際ハ去ル明治十一年二月御省第一号布達海外旅券規則第七條、依リ最初旅券下付方出願セシ官廳即チ御省若クハ開港場府縣、向ケ本人ヨリ直接返納スルヲ以テ證明ヲ為セシ官

八年二月十九日記録開接

香川縣

廳、在テハ本人歸朝セシヤ否不明、付前記兼認書發給、膺リ忽チ差支ヲ生スル義ト被存候間自今返納ノ義モ旅券下付ト同様其證明ヲ為セシ官廳ヲ經由ノ上返納セシムル下、取扱可然哉一般ノ示達方ノ都合モ有之候、付一應及御問合候條至急何分ノ御回答相煩度此段及御照會候也

明治廿八年二月十六日

香川縣知事小畑美

外務省通商局長原 敬啟



MT. 5121 2

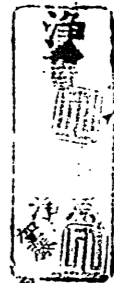
MT. 5121 2

5-0046

0124

二十八年二月十九日

記録係



明治二十八年二月十九日起草
同 年 二月十九日發遣

主任

通商局長



送第 〇 號

外務省通商局長原敬

香川知事小畑美福殿

旅券下付承認書、義旨過般及傳

外務省

通知事、処右ハ現行旅券規則ニ依リ旅券

ヲ返納スルニ證明ヲ願フ官廳ヲ經由セシムニ據ル

者若クハ開港場官廳ニ差出ル事ニ相成テ同

最初發給シタル官廳ニテハ返納ノ實否ヲ知ルニ由

ナク承認ニ差支ル旨ハ際迄テ下付ノ官廳ニ返納セシムル

事ニ取扱ヒ可也茲者本月十六日發第一一四

号ヲ以テ同令承認後、右ハ申請越通ヲ取

扱ハシテ旅券規則改正ノ後ニ非テ行ハシ難ク且

MT.

5121 2

MT.

5121 2

既ニ帰朝シタル者ナレバ承認ヲ出願スヘキ以テ之
 尤モ其實帰朝シテ尚外國留學中ト偽ル如キ者
(取務方現行手續綴分ノ不便有之ルヲ若クハ)
 ニ對シテ他ノ方法ヲ以テ取歸せ候ヨリ他無之ト
 社畜、仍多旅券規則追テ改正セ候、迄ハ従前
 ノ手續ヲ以テ返納セシム可キ義ト承知セ候
 度將又取認書ノ取ハ本人在外ノ事實可成
 調査ヲ尽スヘキハ申述モ之ル由ク之來旅
 券ヲ下付セシト相違ナキ旨ヲ承認スルニ止マル
 外務省
 一キ性質ニ有之ル右等含ヲ以テ取扱セ候
 度比較及取回答候也

MT.

5121 2

MT.

5121 2